

担当役員  
若代副理事長

委員長  
吉岡 恒幸

※各人数は4/1時点

1小(8名)

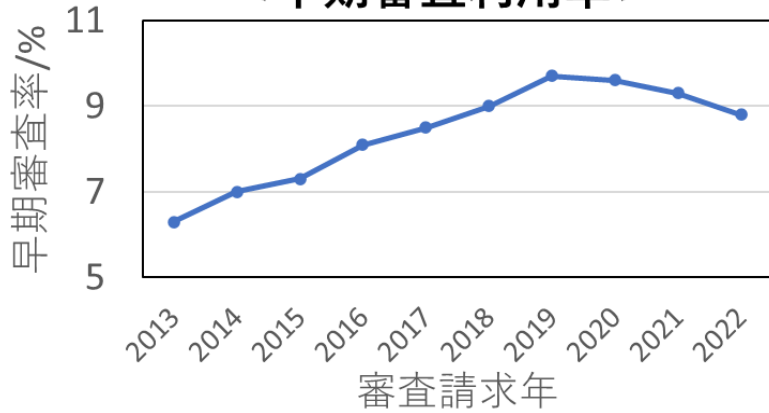
2小(11名)

3小(8名)

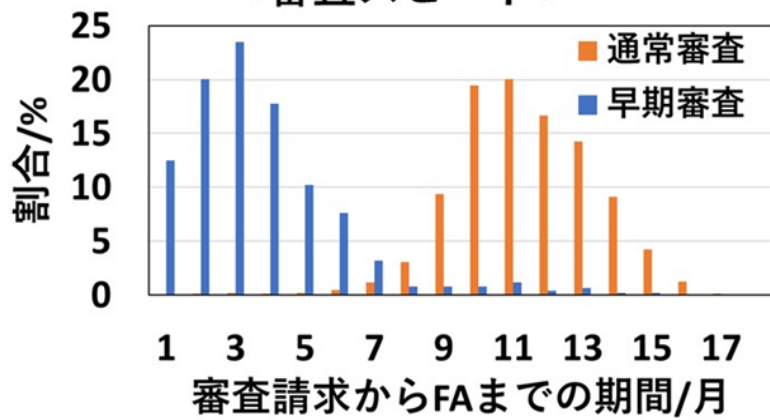
4小(10名)

# 特許制度ハーモナイゼーション<第1小委員会>

<早期審査利用率>



<審査スピード>



<問題点整理>

	出願人の視点	第三者の視点
制度により生じる問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦況に応じた補強不可</li> <li>・第三者からの干渉</li> <li>・自己衝突リスク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供機会喪失</li> <li>・予見性なし</li> </ul>
制度活用のリスク・負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録までに時間が掛かる可能性有り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願人の分割出願併用による負担増</li> </ul>

## <出願人側>

他制度との併用で、より効果的な活用が可能

## <第三者>

早期公開とセットにするなど制度改善が必要?

**早期審査制度の問題点を整理、解決策を提言!**

# 記載要件 <第2小委員会>

## 特殊パラメータ発明

特殊パラメータ発明について各国の現状を把握したい!

👉 各国判断が異なった事例に着目

- ・ サポート要件の適否判断
- ・ 明確性の適否判断

審査基準の違いによる影響が大

JP: 実施例によるサポートを重視

EP: パラメータの新規性を重視

US: 他2国より比較的寛容

## SDGs関連発明と記載要件



SDGs達成に資する発明を確実に権利化したい!

👉 陥りやすい記載不備はあるか?

- ・ 用語の定義が広範・不正確
- ・ 独白用語の意味が理解不能

明確性違反を指摘されやすい

例えば・・・

「生物起源」とは?

「リグニンバイオマス供給流」?

先進技術に共通する傾向?

特許第1委員会は、日本特許の出願から権利化までを主な対象として、最新の出願動向や特許制度上の問題点などを調査・研究しています。その成果は、知財管理誌で発表するとともに、特許庁などの関係各所との意見交換等により、よりよい特許制度の実現を目指しています。

## トレンド〈第4小委員会〉

### 生成系AI

**対話型生成AIを知財業務に活用したい！**

本願と引例の相違点を教えて。

本願と引例の**技術的な**相違点を**箇条書き**にして教えて。

**質問の仕方が出力に大きく影響**

出願書類作成や中間処理のシーン毎に活用事例を検討中。

**ヒトが思いつかない  
新たな視点が得られる？**

### 出願非公開制度

機微性の高い発明について先願の地位を確保しつつ公開による情報流出を防ぐ制度。

パブコメ対応の取りまとめや、保全審査に回送される出願件数等対象技術の出願実態を調査。

**非公開出願=多くとも200件/年**

〈2019～2021年における機微発明に該当し得る特許出願数〉

技術分野	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12-2	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	合計
期間無	36	809	2948	1045	226	201	302	26	79	95	608	60	1262	101	321	1403	461	773	122	208	176	2416	147	6	1	67	13899
2019	1	17	24	7	2	9	11	0	1	0	7	1	40	9	21	19	27	32	8	3	0	13	0	0	0	2	254
2020	0	12	17	3	4	6	8	0	0	0	6	0	21	5	8	35	39	41	12	2	0	4	2	0	0	0	225
2021	0	8	12	1	5	11	12	0	2	0	5	0	23	4	15	27	45	25	1	2	1	9	2	0	0	0	210

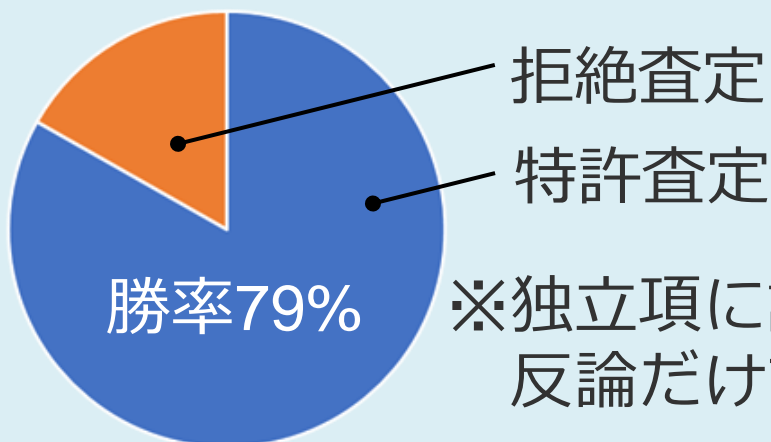
**政令案や府省令案を検討し、  
パブコメ対応を主導**

## 審査の質・進歩性〈第3小委員会〉

### 設計事項等の指摘への対応

**設計変更等の指摘を受けた場合に反論だけで勝ちたい！**

反論だけで応答したときの勝率



- ・設計変更等との指摘に対して、どのように反論すべきかわからない
- ・設計変更と認定した理由がわからない

※独立項に設計変更等が指摘され、反論だけで応答した事例を調査

### 次年度研究

成功事例と失敗事例の反論内容を設計変更等の類型毎に分析



**設計変更等の類型毎に有効な反論を明らかに！**